組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	経営支援課
職	課長
氏名	浅井　豊樹

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か

県内企業の99．8%を占める中小企業は、地域の雇用を創出し、所得の源泉となるなど、地域経済の大切な担い手である。現状では景気は持ち直してきているものの、東日本大震災の影響により一部の中小企業においては、取引先の被災やサプライチェーンの寸断、風評被害等により経営環境が悪化するなど厳しさもみられ、経営環境は業種・企業規模・地域によってばらつきが見られる。

このため、意欲と可能性のある中小企業や商店街の経営安定、基盤強化への取り組みを支援するとともに、伝統的工芸品の商品開発や販路開拓等の意欲ある取り組みを積極的に支援し本県経済の活性化を図る。

↓

組織の目標	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か
(定性的目標)	何をどのような状態にしたいか

① 本県経済の基盤をなす中小企業の経営安定や基盤強化を図るため、経営・金融面から支援し、活力ある中小企業を育成する。
② 商店街の活性化を図るため、意欲ある商店街や中小商業者の取り組みを積極的に支援し、商店街に賑わいを創出する。
③ 伝統的工芸品産業の商品開発や販路開拓等の意欲ある取り組みを支援し、伝統的工芸品産業のより一層の振興を図る。

(定量的目標)　具体的な指標、目標値を設定する

目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
①中小企業(製造業)の一人当たり付加価値額	6,723　千円	H21 年度	8,124 千円	H25 年度	GDP(名目)伸び率0.1%(H21年度内閣府経済見通し)を乗じてH25の目標を設定
②商業活性化推進基金事業採択件数(累計)	130 件	H22 年度	107 件	H25 年度	15～18年度平均≒8件　→　年平均10件を目標
③伝統工芸品生産額	28,942 百万円	H22 年度	46,650 百万円	H27 年度	伝統的工芸品産業の厳しい状況の中、販路開拓等を支援し振興を図る。

↓

23年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する
①中小企業の基盤強化のための総合支援	事業転換、創業、経営革新、企業間連携、建設業複業化に意欲的に取り組む企業に対し、計画策定や支援方策について、検討からフォローアップまで、ISICO、商工会、商工会議所、金融機関等とも連携し、それぞれの企業の状況に応じ経営面、金融面から総合的に支援を行う。また、中小企業指導団体に対し活動費等を助成するなど、中小企業の経営ノウハウ向上のための支援を行う。また、商工会連合会能登サテライトセンターによる支援など、業種、企業規模、地域にも配慮し支援を行う。
①積極的な設備投資の支援	県の制度融資における設備資金借入条件のより一層の改善検討を行うとともに、設備貸与制度・設備資金貸付制度のPRによる中小企業の意欲的な設備投資を支援する。
①金融円滑化対策の推進	県の制度融資における経営安定支援融資による資金繰りの円滑化を図るとともに、金融機関や商工団体との連携によって、県内中小企業の金融円滑化をより一層推進する。
①再生支援プログラムの積極的な推進	再生に意欲的に取り組む企業に対し、計画策定や支援方策について、検討からフォローアップまで、ISICO、商工会、商工会議所、金融機関等とも連携し、経営面、金融面から総合的に支援を行う。
②街づくりと一体となった商業の活性化及び中小商業者の育成	意欲をもって活性化に取り組む商店街及び中小商業者に対して商業活性化基金を活用して、ソフト・ハードの両面から支援を行う。
③伝統的工芸品産業の振興	新商品開発や新分野進出、海外を含めた新たな販路開拓、後継者の育成・確保を各産地と一体となって推進するとともに、優れた観光資源の一つとして伝統的工芸品の魅力を効果的に全国発信する。